

オイルキャッチタンクキット (372cc) 取扱説明書

製品番号 07-05-0030

適応車種及び	Z125 PRO (BR125H-A02621 ~)
フレーム番号	Z125 PRO (タイ仕様)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎ Z125 PRO (タイ仕様) は、タイ国内において予告せずに仕様変更された場合、当製品が取り付け出来ない恐れがあります。予めご了承下さい。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合やこの取扱説明書に記載されている方法以外で取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品の取り付けには、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に行って下さい。

◎車両の個体差により、オイルキャッチタンクとフレームカバーが干渉する場合があります。その場合、商品に同梱しているスポンジ両面テープを干渉部分に貼り付け、ご使用下さい。

◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

～特 徴～

○キャッチタンク容量は約 372cc です。

○各ユニオンはネジ式になっていますので、ホースの取り回し等、自分の好みに合わせて取り付けることが出来ます。

○取り付け場所はシュラウド左側の内部に収まり、外観を崩さずすっきりととまります。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。
（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。
（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
（部品の脱落の原因となります。）

■キャッチタンクは必ずホースを接続した状態でご使用下さい。タンクのみを取り付けた場合、振動等でステーが破損し、タンクが脱落する可能性があります。

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対に置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	オイルキャッチタンク COMP.	1	55200-098-T00
2	オイルキャッチタンクステー	1	55210-BR1-T00
3	ストレートユニオン M10	1	00-07-0048
4	オイルプラグボルト M10	3	00-07-0072
5	ユニオン M12	1	55204-KRL-T00
6	アルミシーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0010 (10 ヶ入)
7	シーリングワッシャ 12mm	1	00-00-0140 (5 ヶ入)
8	ブレードホース φ 8 10cm	1	00-07-0070 (1m)
9	ブレードホース φ 12 12cm	1	00-07-0071 (1m)
10	ホースクランプ (φ 13.1)	2	00-00-0087 (4 ヶ入)
11	ホースクランプ (φ 15.5)	2	00-00-0215 (4 ヶ入)
12	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x15	2	00-00-0132 (4 ヶ入)
13	フランジナット 6mm	2	00-00-0173 (6 ヶ入)
14	フランジボルト 6x12	2	00-00-0322 (6 ヶ入)
15	L レンチ 4mm	1	
16	スポンジ両面テープ 45x60	1	

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

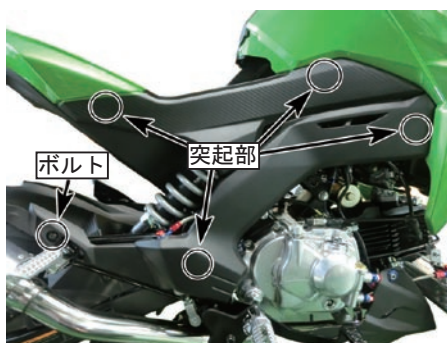
●はじめに

⚠ 注意：本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い作業を行って下さい。また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

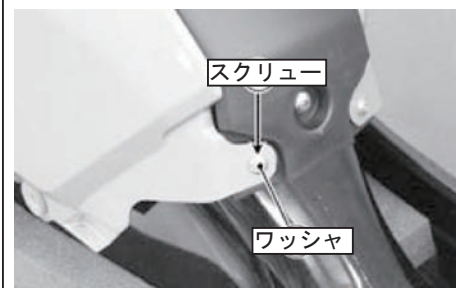
●外装の取り外し

1. 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
2. シートを取り外し、純正サービスマニュアルを参照の上で、L./R. サイドフレームカバーを外します。
スクリーンとタンデムステップ近くにあるボルトを外します。
ツメ及び、グロメットに突起部がはめ込まれて固定されているので、写真を参考にカバーを外します。

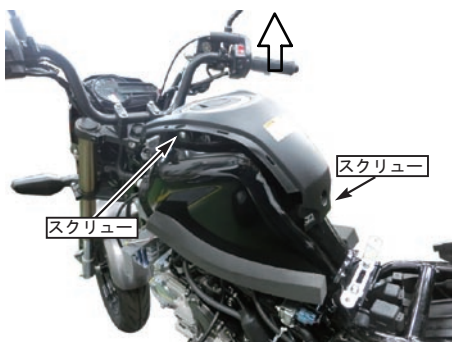
⚠ 注意：突起部及びツメが折れないように注意して下さい。



3. クイックリベットとスクリーン及びワッシャを取り外し、ミドルカウリングを外します。



4. スクリューを3本取り外し、燃料タンクカバーを上方向に取り外します。



5. エアクリーナーとクランクケースをつないでいるブリーザーチューブを取り外します。



6. 後の作業をスムーズに行う為に、スタータモータ、オルタネータ、クランクシャフトセンサ、ギアポジションセンサのリード線コネクタを外します。



7. メインハーネスが車両のフレームに、2ヶ所クリップで留まっているので、フレームからメインハーネスを外します。外れたら、メインハーネスからクリップを外します。



8. メインハーネスをメインフレーム側に移動させます。この時、出来るだけメインハーネスがメインフレームと燃料タンクの間に納まるようにします。

⚠ 注意：メインハーネスを無理に引っ張ると断線する恐れがあります。



9. ボタンヘッドソケットスクリュー 6x15 とフランジナット 6mm を使用して、メインハーネスがクリップで留まっていた2ヶ所の穴を使用し、オイルキャッチタンクステアをメインフレームに取り付けます。

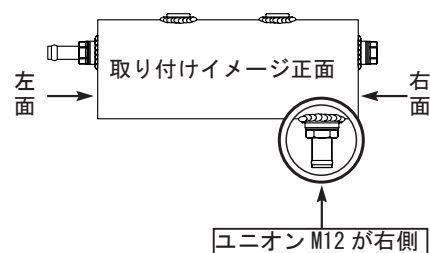
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジナット 6mm
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



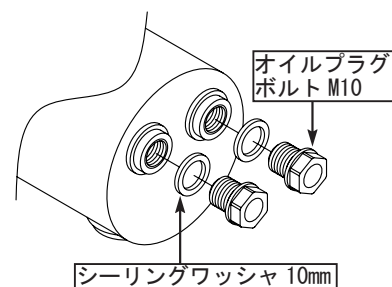
10. オイルキャッチタンクにユニオン類を取り付けます。

必ずタンク単品の状態で行って下さい。オイルキャッチタンクステアにオイルキャッチタンクを固定した状態でユニオンを装着した場合、オイルキャッチタンクステアが曲がる恐れがあります。

下図のようにオイルキャッチタンクの底にあるユニオン M12 が右側にある状態で右面と左面とし、ユニオンの取り付けを説明していきます。

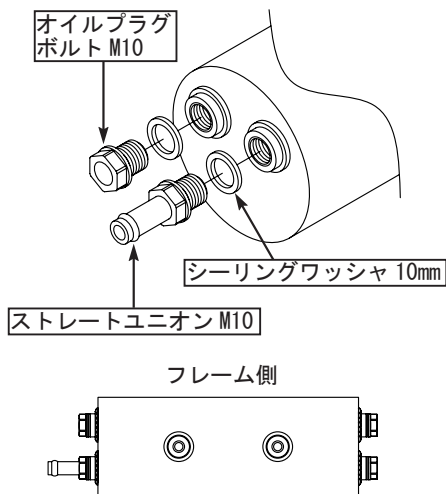


11. オイルキャッチタンクの右面には、シーリングワッシャ 10mm、オイルプラグボルト M10 を取り付けます。



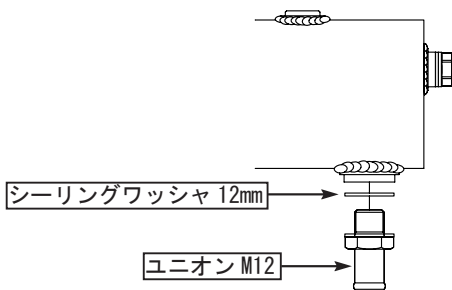
12. オイルキャッチタンク左面には、シーリングワッシャ 10mm、ストレートユニオン M10、オイルプラグボルト M10 を取り付けます。フレーム側にオイルプラグボルト M10 を取り付けして下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ストレートユニオン M10/ オイルプラグボルト M10
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



13. オイルキャッチタンクの底にあるボスにシーリングワッシャ 12mm、ユニオン M12 を取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ユニオン M12
トルク：15N・m (1.5kgf・m)



14. 燃料タンクとブラケットを留めている燃料タンクボルト 2 本を取り外し、オイルキャッチタンクをオイルキャッチタンクステーに取り付ける為に、燃料タンクを少し上に持ち上げ、フランジボルト 6x12 を使用して、オイルキャッチタンクを取り付けます。

この時、燃料タンクの下に物を挟みこみ、燃料タンクを上げた状態にしておくと作業性が良くなります。

※燃料タンクを上げ過ぎると燃料ホースが傷みますのでご注意ください。

※燃料タンクの下に物を挟みこんだ場合は、オイルキャッチタンクがオイルキャッチタンクステーに付いた時点で、燃料タンクを下ろして下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト 6x12
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



15. ブレードホースφ 8 10cm を適当な長さ（目安長：7.5cm）にカットします。ホースの先端 2 ヶ所にホースクランプφ 13.1 を通し、オイルキャッチタンク左面のストレートユニオン M10 とノーマルエアクリーナーをつなぎます。

ブレードホースφ 12 12cm を適当な長さ（目安長：10cm）にカットします。

ホースの先端 2 ヶ所にホースクランプφ 15.5 を通し、ユニオン M12 とクラックケースをつなぎます。

取り回しやホースのねじれや折れがないか確認後、ホースクランプで確実にホースを固定します。



16. 燃料タンクを取り付けます。取り外したブラケットの向きに注意し、取り外した燃料タンクボルト 2 本で取り付けをして下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
燃料タンクボルト
トルク：5.9 ～ 7.8N・m (0.6 ～ 0.8kgf・m)



17. その他取り外した外装類、コネクタ類も元通り組み付けます。
この時、車両の個体差により、オイルキャッチタンクとフレームカバーが干渉場合があります。
その場合、干渉する箇所にスポンジ両面テープ 45x60 を片面のみ剥離紙を剥がし、干渉部分に貼り付けお使い下さい。